

産業建設常任委員会代表質問



質問者
宮田 真理子

質問

1、湯沢町観光協会のみ一般財団法人化取組みほどの程度すすんでいるのか、実現はいつ頃になるのか、お聞かせください。

町長答弁

湯沢町観光協会総務委員会が、法人化検討委員会となり、取得法人格としては、「一般社団法人」とし専務理事を中心に鋭意書類作成をしている。名実ともに体制が整備され、皆さんの期待に応えられるよう支援していきたい。

質問

2、公約の一つでもある「温泉街の電柱埋設」は一日も早い実現を願うものであるが、「湯沢温泉通り無電柱化協議会」の検討等々どこまで進んでいるのか。また今後の見通しはどうか。をお聞かせください。

町長答弁

平成21年10月湯沢温泉通り無電柱化推進協議会を設立し2回の全大会を開催している。
平成21年11月に道路管理者の県による、カーコーンを置く社会実験と交通量調査等が行われた。その結

質問

3、「農業者の所得の向上と集落の維持再生を図るため6次産業化の推進を支援する。」とあるが、どういった支援なのか、具体的にお聞かせください。

町長答弁

推進の鍵となるのは、事業者から相談を受け助言等を行う「プランナー」であり、各県に4〜5人の専門家が配置される予定となっている。国の認定を受ければ、商品開発や、加工設備、直売施設の建設等事業費の補助を受ける事ができる。具体的には、①地場産野菜や果物を利用した加工品

質問

の製造。②地元農産物の直売。③直売所のイートインコーナーでの加工品販売。④農家レストラン等を想定、農工商等連携事業で国の認定を受けた2事業者や、仮称三保道の駅、仮称道の駅「南魚沼」との連携、グリーンツーリズムの促進等を進めたいと考えている。

町長答弁

4、砂防事業の促進整備計画についてお聞かせください。

湯沢砂防事務所では、継続事業として毛渡沢砂防堰堤と万太郎谷砂防堰堤の工事を実施しており、毛渡沢23年度、万太郎谷24年度に完了すると聞いている。今年度大源太川の合流箇所付近の魚野川の落差工箇所魚道設置工事が発注され、23年度に工事完了する予定。今年度以降は①土樽地内の一ノ沢砂防堰堤②戸沢入川砂防堰堤③足拍子川砂防堰堤④居頭沢砂防堰堤⑤松川入川溪流保全工⑥浅貝川溪流保全工等が予定されている。

質問

5、下水道未接続者への対応はどのようにしているかを伺います。

町長答弁

重点地区に戸別訪問やパンフレットの送付等を行っている。9月には広報で啓蒙を行った。住宅リフォーム支援事業にも該当することから、業者にもPRをお願いした。